



# 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 東

上場会社名 サイボー株式会社  
 コード番号 3123 URL <http://www.saibo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 飯塚 剛司  
 (氏名) 藤井 孝男  
 配当支払開始予定日

TEL 048-267-5151  
 平成23年12月8日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,573	4.9	692	△13.0	642	△12.5	380	61.0
23年3月期第2四半期	4,361	1.5	795	△3.0	734	△19.1	236	△47.5

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 355百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △75百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	27.89	—
23年3月期第2四半期	17.32	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	27,199	13,644	43.4
23年3月期	27,035	13,387	42.7

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 11,801百万円 23年3月期 11,557百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
24年3月期	—	7.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,553	△1.7	1,201	△20.1	1,178	△22.0	660	3.9	48.39

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	14,000,000 株	23年3月期	14,000,000 株
24年3月期2Q	359,462 株	23年3月期	359,462 株
24年3月期2Q	13,640,538 株	23年3月期2Q	13,640,624 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、平成23年3月11日に発生した東日本大震災により東北・北関東を中心とした地震、津波によるサプライチェーン被害と、福島原発事故による電力不足や放射能汚染の影響で企業の生産が減少した影響から、個人消費や設備投資は低調に推移いたしました。また欧州の信用不安や米国の経済回復の遅れから急激な円高が進み、株安基調が続く中で、今後の景気動向は依然として先行き不透明な状況となりました。そのような中で、当社グループにおける事業環境は一部に円高の恩恵があるものの引続き厳しい状況になりましたが、繊維事業は前期に達成した営業黒字化を、当上半期も維持することができました。

## ① 繊維事業

原糸販売は、4月中旬以降、海外の原料相場が急落したことを受けて5月の荷動きが落ち込んだものの、その後の相場の戻りもあって荷動きも活発化するなど、産業用一般資材織物の市況回復が続いて、輸入ポリエステル糸・レーヨンフィラメント糸および紡績糸の販売が好調に推移して増収となりました。利益面では、高値在庫が予想より早く販売でき、7月以降の原価安と円高を追い風に増益となりました。アパレル関係は、当期のスタート時は、震災の影響によるプロ野球、サッカーJリーグ等の開幕遅延の影響を受けてスポーツ関連商品の販売が延期されるなど、売上の落ち込みを心配しましたが、それに代わる大口ユニフォームの受注ができたことにより大幅な増収増益となりました。カジュアル縫製品関係は、自社企画商品「ユミカツラ(桂由美)」ブランドを小売業へ直接販売していく路線の効果が現れ増収となりましたが、百貨店販売店舗の拡販が進み出店費用と販売員経費が嵩んで、大幅な減益となりました。刺繍レースを扱う栃木サイボー(株)は、震災後の需要不振から発注取り消しや引き取り延期などが影響して僅かな減収となりましたが、商品の粗利率の改善や経費削減に取り組み営業損失は半分に縮小いたしました。

この結果、繊維事業の売上高は20億89百万円(前年同期比17.8%増)となり、営業利益は前年同四半期に比べ13百万円改善し黒字となりました。

## ② 商業施設賃貸事業

震災による二つの大型商業施設への影響は軽微なもので、営業には支障はありませんでした。「イオンモール川口前川(旧称 川口キャラ)」は近隣大型商業施設に比べ「回遊型ショッピング」ができるというお客様の利便性が高く評価されるなど、二つの大型商業施設全体の売上高は、震災後の計画停電の影響はあったものの前年同期比僅かな減収と聞いております。賃料収入面においては、「イオンモール川口(旧称 川口グリーンシティ)」が賃貸期間の延長による賃料の引き下げにより賃料収入が大幅に減少、二つの施設の維持更新による修理費用の増加があったものの、商業施設賃貸事業は引き続き安定した収益基盤を維持しております。

この結果、商業施設賃貸事業の売上高は11億56百万円(前年同期比11.0%減)、営業利益は5億52百万円(前年同期比22.1%減)となりました。

## ③ ゴルフ練習場事業

埼玉興業(株)の「川口・黒浜・騎西の各グリーンゴルフ」練習場は、若年プロゴルファーの活躍など若年層の入場者は増加傾向にあるものの、原発事故による計画停電や震災による自粛ムードにより、全体の入場者、売上高ともに僅かな減少となりましたが、節電などの経費削減に努めて増益になりました。

この結果、ゴルフ練習場事業の売上高は5億11百万円(前年同期比1.6%減)、営業利益は84百万円(前年同期比10.5%増)となりました。

## ④ その他の事業

その他の事業においては、埼玉興業(株)の自動車教習所事業は、少子化・免許離れによる入校生の減少は小康状態から徐々に増加に転じ、震災による影響も薄れて二輪車の好調が続き増収となりました。さらに節電などの経費削減により増益になりました。

神根サイボー(株)のインテリア施工事業は、震災の影響から補修工事が増加したことにより増収増益となりました。

サイボー(株)のギフト事業部の営業課の慶弔ギフト品販売は、震災後の自粛ムードによる行事の中止など、消費者の生活防衛意識がさらに強まる中、顧客の掘り起こしや販売提案力を強化して僅かに増収となり、利益率の高い商品の販売に努め増益となりました。ディアグリーン課の緑化事業は、観葉植物のレンタル事業は安定した収入を確保、自動給水プランター「e-プランター」や自動給水ミニ鉢の販売が伸びて増収増益となりました。

自動車板金塗装修理事業は、トヨタ生産方式の生産性向上や自社見積もり件数の増加により僅かな増収となりましたが、ネットヨタ東埼玉(株)とのさらなる連携強化の目的で人材を受入れるなどしたことにより減益となりました。

この結果、その他の事業の売上高は8億15百万円(前年同期比6.2%増)、営業利益は59百万円(前年同期比93.6%増)となりました。

以上の結果、当社グループの売上高は、45億73百万円(前年同期比4.9%増)、営業利益は6億92百万円(前年同期比13.0%減)、経常利益は6億42百万円(前年同期比12.5%減)となりました。四半期純利益につきましては、3億80百万円(前年同期比61.0%増)となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## ① 財政状態の分析

総資産は、有形固定資産の減価償却費の計上による減少があったものの、現金及び預金が増加したこと等により、前連結会計年度末に比べ1億63百万円増加して271億99百万円となりました。

負債は、未払法人税等が増加したものの、借入金の返済等により、前連結会計年度末に比べ93百万円減少して135億54百万円となりました。純資産は、期末配当の支払による減少があったものの、四半期純利益の増加により、前連結会計年度末に比べ2億57百万円増加して136億44百万円となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間末の現金及び現金同等物(以下、「資金」という)は前連結会計年度末に比べ5億81百万円増加して32億4百万円となりました。

営業活動により得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ6億74百万円増加して13億38百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益の増加、売上債権の減少及び法人税等の支払額の減少等によるものであります。

投資活動により支出した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ3億95百万円増加して3億21百万円となりました。これは主に有価証券や投資有価証券の売却による収入がなかったことや、有形固定資産の売却による収入が減少したこと等によるものであります。

財務活動により支出した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ2億円増加して4億35百万円となりました。これは主に短期借入金の返済による支出が増加したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年5月19日の決算短信で発表いたしました、連結業績予想から変更は行っておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年 9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,101,393	3,620,927
受取手形及び売掛金	1,020,243	783,161
有価証券	20,187	90,660
商品及び製品	466,364	514,262
仕掛品	15,162	17,295
原材料及び貯蔵品	36,687	42,958
その他	320,642	207,869
貸倒引当金	△15,353	△654
流動資産合計	4,965,327	5,276,480
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,375,813	11,173,537
土地	5,164,477	5,215,557
その他(純額)	121,267	143,498
有形固定資産合計	16,661,558	16,532,593
無形固定資産		
投資その他の資産	160,555	129,551
投資その他の資産		
投資有価証券	4,505,668	4,491,538
その他	776,010	797,747
貸倒引当金	△33,517	△28,432
投資その他の資産合計	5,248,161	5,260,853
固定資産合計	22,070,274	21,922,998
資産合計	27,035,602	27,199,479
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	440,267	429,824
短期借入金	200,000	—
1年内返済予定の長期借入金	210,000	210,000
未払法人税等	31,447	322,115
賞与引当金	81,922	80,747
役員賞与引当金	6,200	3,100
その他	995,116	989,561
流動負債合計	1,964,953	2,035,348
固定負債		
長期借入金	1,225,000	1,120,000
退職給付引当金	245,809	218,331
役員退職慰労引当金	174,677	179,996
長期預り保証金	8,977,843	9,014,477
その他	1,059,843	986,769
固定負債合計	11,683,172	11,519,574
負債合計	13,648,126	13,554,922

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年 3 月31日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成23年 9 月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,402,000	1,402,000
資本剰余金	868,685	868,685
利益剰余金	9,716,135	10,003,556
自己株式	△252,076	△252,076
株主資本合計	11,734,744	12,022,165
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△141,921	△185,773
繰延ヘッジ損益	△35,402	△34,556
その他の包括利益累計額合計	△177,323	△220,329
新株予約権	23,500	24,524
少数株主持分	1,806,555	1,818,197
純資産合計	13,387,476	13,644,556
負債純資産合計	27,035,602	27,199,479

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
売上高	4,361,439	4,573,181
売上原価	2,832,301	3,148,481
売上総利益	1,529,137	1,424,699
販売費及び一般管理費	733,164	732,067
営業利益	795,973	692,632
営業外収益		
受取利息	7,236	8,123
受取配当金	33,318	34,500
持分法による投資利益	25,795	—
貸倒引当金戻入額	—	17,725
その他	16,920	30,962
営業外収益合計	83,270	91,312
営業外費用		
支払利息	62,744	56,019
持分法による投資損失	—	14,408
デリバティブ評価損	35,040	18,824
有価証券運用損	20,880	49,971
その他	26,554	2,554
営業外費用合計	145,218	141,778
経常利益	734,024	642,166
特別利益		
固定資産売却益	11,414	47,241
投資有価証券売却益	8	—
特別利益合計	11,423	47,241
特別損失		
固定資産除却損	50,159	—
固定資産売却損	5,494	—
投資有価証券評価損	517	349
立退補償金	510,000	—
特別損失合計	566,172	349
税金等調整前四半期純利益	179,275	689,058
法人税、住民税及び事業税	29,152	323,483
法人税等調整額	35,961	△33,868
法人税等合計	65,114	289,614
少数株主損益調整前四半期純利益	114,160	399,443
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△122,088	18,990
四半期純利益	236,249	380,453

四半期連結包括利益計算書  
第 2 四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第 2 四半期連結累計期間 (自 平成22年 4 月 1 日 至 平成22年 9 月30日)	当第 2 四半期連結累計期間 (自 平成23年 4 月 1 日 至 平成23年 9 月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	114,160	399,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△176,915	△37,658
繰延ヘッジ損益	△4,026	845
持分法適用会社に対する持分相当額	△9,089	△7,358
その他の包括利益合計	△190,031	△44,171
四半期包括利益	△75,870	355,272
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	50,497	337,446
少数株主に係る四半期包括利益	△126,368	17,825

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	179,275	689,058
減価償却費	420,905	391,056
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,904	△19,784
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,929	△1,175
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△34,970	△3,100
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△15,101	△27,477
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	4,975	5,319
受取利息及び受取配当金	△40,554	△42,624
支払利息	62,744	56,019
持分法による投資損益 (△は益)	△25,795	14,408
有価証券運用損益 (△は益)	20,880	49,971
投資有価証券売却損益 (△は益)	△8	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	517	349
売上債権の増減額 (△は増加)	10,713	240,019
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△81,075	△56,301
仕入債務の増減額 (△は減少)	△34,484	△10,442
長期未払金の増減額 (△は減少)	505,000	—
その他	116,154	96,028
小計	1,090,152	1,381,323
利息及び配当金の受取額	46,581	49,145
利息の支払額	△62,399	△55,674
法人税等の支払額	△410,352	△36,402
営業活動によるキャッシュ・フロー	663,981	1,338,391
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有価証券の売却による収入	66,333	—
有形固定資産の取得による支出	△172,605	△253,975
有形固定資産の売却による収入	160,413	70,239
投資有価証券の取得による支出	△161,384	△201,905
投資有価証券の売却による収入	128,884	—
定期預金の増減額 (△は増加)	54,094	62,364
貸付けによる支出	△24,000	△13,500
貸付金の回収による収入	24,000	13,500
その他	△812	2,246
投資活動によるキャッシュ・フロー	74,922	△321,029

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	200,000	300,000
短期借入金の返済による支出	△200,000	△500,000
長期借入金の返済による支出	△105,000	△105,000
配当金の支払額	△93,032	△93,032
少数株主への配当金の支払額	△6,184	△6,184
その他	△30,972	△31,246
財務活動によるキャッシュ・フロー	△235,189	△435,462
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	503,714	581,898
現金及び現金同等物の期首残高	3,216,640	2,622,678
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,720,355	3,204,576

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

前第2四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他の事業 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	商業施設 賃貸事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	1,774,573	1,299,367	520,037	3,593,978	767,460	4,361,439	—	4,361,439
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,500	137,282	—	140,782	97,183	237,965	(237,965)	—
計	1,778,073	1,436,649	520,037	3,734,761	864,643	4,599,405	(237,965)	4,361,439
セグメント利益 又は損失(△)	△12,135	708,661	76,869	773,395	30,901	804,296	(8,323)	795,973

(注) 1 「その他の事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、自動車板金塗装修理事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント				その他の事業 (千円) (注) 1	合計 (千円)	調整額 (千円) (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注) 3
	繊維事業 (千円)	商業施設 賃貸事業 (千円)	ゴルフ 練習場 事業 (千円)	計 (千円)				
売上高								
外部顧客への売上高	2,089,984	1,156,159	511,936	3,758,081	815,099	4,573,181	—	4,573,181
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,200	128,582	—	132,782	116,797	249,579	(249,579)	—
計	2,094,184	1,284,742	511,936	3,890,863	931,897	4,822,760	(249,579)	4,573,181
セグメント利益	1,397	552,370	84,967	638,735	59,817	698,553	(5,920)	692,632

(注) 1 「その他の事業」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、自動車教習所事業、ギフト事業、自動車板金塗装修理事業、インテリア施工事業等を含んでおります。

2 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。